

是川縄文館には、縄文時代の土器や装飾品、またその暮らしぶりを紹介する資料などが豊富に所蔵されています。

その芸術性の高さから、現代と比べても想像を絶するほどの創造力と技術力を縄文人が有していたと言われていいます。

今回は、八戸出身の美術家・竹本真紀さんをゲストに、

そんな縄文人の暮らしを考えてみたいと思います。

同時に、1万年以上続いたとされる縄文時代の人々の思想についても、

いくつかの事例を紹介しながら語り合います。

八戸の民俗や歴史を研究してきた古舘館長がナビゲーターとなって、

今まで語られることのなかった縄文と現代の繋がりを紐解く緊急企画！ぜひご参加ください。

緊急
企画！



JOMON
トーク



ハッピーが隠れてる？縄文とアートのおはなし。



日時：2018年3月4日(日) 14:00～15:30

場所：是川縄文館 2階研修室 tel.0178-38-9511

出演：古舘光治(是川縄文館館長)、竹本真紀(美術家)

参加方法：予約不要、無料



<ゲストプロフィール>

美術家 竹本真紀 1976 青森県八戸市生まれ。1999年 国立弘前大学教育学部小学校教員養成課程卒業。岩井康頼氏、村上善男に師事する。2000年 美学校小沢剛トンチキアートスクール入校。現在は横浜市を拠点に地域の人々とさまざまなプロジェクトを展開している。八戸の横丁のマスコットキャラクター「酔っ払いホヤジ」の生みの親。